

令和元年度男鹿市商工会 戦略・施策・事業評価結果の概要

令和元年9月27日
男鹿市商工会

平成30年度の「商工会創生プラン」について設定した数値目標の達成度等進捗状況の点検を行い、その結果を次の取組に活かす仕組みとして戦略・施策・事業を対象に評価を行いました。

1 評価の実施

評価は、「5つの戦略」「10の施策」「26の事業」を対象に、数値目標の達成度や必要性・有効性・効率性等の観点から商工会内部で毎年自己評価します。評価結果は男鹿市内の各業種から構成される評価委員会より、客観的な意見を頂く体制としています。又、総代会資料や商工会報で公表する事で事業者からの幅広い意見を伺う事としています。

数値目標に対する結果の検証と地域情勢を考慮して、事業の優先順位・見直し及び取組手法の改善を行いながら、10年先は「確かなビジョンと実行力で事業者とともに挑み続ける商工会」である事を目指します。

2 評価結果の概要

戦略・施策・事業の評価結果は次の通りであり、全体的に「概ね順調」に推移しています。

戦略評価：5 戦略	A（順調）：0	B（概ね順調）：2	C（一部未達成）：3
-----------	---------	-----------	------------

C評価となった「育て・挑戦を支える商工会」、「事業者が主役の商工会」、「機動的・効率的な商工会」については、事業者に寄り添った伴走型個社支援体制及び日常業務の強化、商工会組織の強化・組織率向上、個社支援の充実を図る事を目的とした職場環境の見直し等、取組が不足している部分を商工会内部で話し合い改善を図ります。

【A判定0%、B判定40%、C判定60%】

施策評価：10 施策	A（順調）：0	B（概ね順調）：7	C（一部未達成）：3
------------	---------	-----------	------------

7の施策は概ね順調であり、B→A評価となるように優先的に取組を行います。C評価となった「関係機関との連携強化」、「将来にわたり活動の担い手となる人材育成の強化」、「受託事業・地域振興事業の見直し」については、相手方への配慮もあり時間を掛ける施策である事から、関連する事業者の理解を得ながら取組を行います。

【A判定0%、B判定70%、C判定30%】

事業評価：26 事業	A（順調）：5	B（概ね順調）：18	C（見直しが必要）：3
------------	---------	------------	-------------

事業所への日々の巡回により、補助金の活用提案、融資の斡旋、借入金返済条件変更、事業承継診断・計画支援、税務・労務指導、創業・廃業支援等の伴走型支援に繋がっており、より深く個社の経営課題に踏み込み「課題解決」、「実行支援」に努めています。又、職員会議やチーム支援等複数体制での取組により職員間の情報共有能力も向上しています。取組が薄い事業も3つ程ありましたが、取組を進める過程で改善しながら実施します。職員の能力や経験・事業者とのコミュニケーション・地域への慣れ等が向上する事で事業への取組も順調に推移します。

【A判定19%、B判定69%、C判定12%】

■評価結果の活用

評価結果及び評価委員会の意見を再度検証して、現在行っている取組の方向性の確認・見直し及び今後の展開に反映させ、商工会組織として共通認識により「商工会創生プラン」推進に活用します。